

平成 29 年度 主な地方創生関連事業に係る進捗状況について

(平成 28 年度からの繰越事業を一部含む)

1 「ひと」の創生

結婚・妊娠・子育てに関する切れ目のない支援

○病児保育事業	2
○東野放課後児童クラブ運営事業	3

学校教育の充実

○未来の人材育成事業	4
------------	---

2 「しごと」の創生

産業の担い手の確保と雇用の場の拡充

○産地競争力強化事業	5
○産業団地適地調査事業	6
○空き店舗等改修助成事業	7
○特産品加工・交流施設整備事業【地方創生拠点整備交付金活用事業】	8

3 「まち」の創生

住環境の充実と土地活用方策の検討


○産業団地適地調査事業（再掲）	9
-----------------	---

コンパクトな市街地整備の推進

○市庁舎移転整備事業	10
○集約都市形成支援事業	11
○地域公共交通現状分析調査事業	12

事業名称	病児保育事業	担当	社会福祉課
<p>〔目的〕 保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るため、病児保育を実施する。</p> <p>〔事業概要〕 ・病気の回復期に至っていない児童を病児保育室「ポピー」において、看護師等が一時的に保育を行う。 ・平成 29 年 5 月 23 日開設 ・実施場所：米田小児科医院 ・対象児童：生後 3 か月～小学校 6 年生まで ・定 員：2 名 ・開 設 日：月・火・水・金曜日（祝日，お盆，年末年始は除く） ・利用時間：8 時 30 分～17 時 30 分（18 時 30 分まで延長可）</p> <p>〔実施状況（ H29. 5～H30. 1 月） 〕 利用者数 延べ 3 3 人</p> <p>〔H29 年度の周知（広報）状況〕 ・竹原市ホームページ，広報たけはら ・こそだてはてなぶつく ・ポスターの掲示（保育所，公民館，休日診療所等）</p> <p>〔H29 年度事業費〕 5, 045 千円</p> <div data-bbox="868 869 1310 1178" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1003 1227 1366 1482" data-label="Image"> </div>			
H30 年度の取組			
<p>〔事業概要〕 ○保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るため、引き続き、保護者が勤務等の都合により家庭での保育が困難な場合に病児保育室において、病児保育を行う。 ○保育所等への事業の周知を図るとともに、感染症流行状況や予防策等の情報提供を行う。</p> <p>〔H30 年度事業費〕 5, 018 千円</p>			
事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了		

事業名称	東野放課後児童クラブ運営事業	担当	社会福祉課																						
<p>〔目的〕</p> <p>2小学校区で合同開設している荘野放課後児童クラブにおいて、利用児童の増加が見込まれるため、東野小学校区に放課後児童クラブを開設する。</p> <p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設に必要な備品等の整備 ・ 運営に伴う費用の負担 <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年4月1日～開設 ・ 開設時間：平日14時～18時 学校休業日8時～18時 ・ 定員：35名 ・ 東野小学校に隣接する民家を借用。 ・ 運営は東野放課後児童クラブ運営委員会に業務委託している。 ・ 利用状況 <table border="1" data-bbox="271 896 662 1444"> <thead> <tr> <th>開設月</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>16</td></tr> <tr><td>5月</td><td>14</td></tr> <tr><td>6月</td><td>16</td></tr> <tr><td>7月</td><td>17</td></tr> <tr><td>8月</td><td>19</td></tr> <tr><td>9月</td><td>18</td></tr> <tr><td>10月</td><td>18</td></tr> <tr><td>11月</td><td>18</td></tr> <tr><td>12月</td><td>18</td></tr> <tr><td>1月</td><td>18</td></tr> </tbody> </table>   <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹原市ホームページ，こそだてはてなぶつく <p>〔H29年度事業費〕</p> <p>5,687千円</p>				開設月	利用者数	4月	16	5月	14	6月	16	7月	17	8月	19	9月	18	10月	18	11月	18	12月	18	1月	18
開設月	利用者数																								
4月	16																								
5月	14																								
6月	16																								
7月	17																								
8月	19																								
9月	18																								
10月	18																								
11月	18																								
12月	18																								
1月	18																								
H30年度の取組																									
<p>〔事業概要〕</p> <p>○引き続き一定の需要が見込まれるため開設する。</p> <p>〔H30年度事業費〕</p> <p>5,702千円</p>																									
事業実施区分	新規 ・ <u>継続</u> ・ 終了																								

事業名称	未来の人材育成事業	担当	学校教育課								
<p>〔目的〕</p> <p>英語力を見取る検定試験及びイングリッシュキャンプを実施しグローバル化社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>①イングリッシュキャンプ</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>市内小中学生30名程度を募集し、外国語指導助手（ALT）や留学生とのコミュニケーションを図り、1泊2日オールイングリッシュのキャンプを行う。</p> <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <table border="1" data-bbox="284 600 1082 987"> <tr> <td>期 間</td> <td>平成29年8月8日（火）～8月9日（水）</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>市内小学校5年生6名，6年生8名，中学1年生7名，中学2年生5名，中学3年生4名</td> </tr> <tr> <td>指導者等</td> <td>ALT4名，中学校英語担当教員4名，留学生13名，引率者等6名</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>オールイングリッシュでの自己紹介，トレジャーハントやカレー作りなどのアクティビティーをALTや留学生を交えた異学年グループで行った。</td> </tr> </table>  <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <p>広報たけはら及び学校教育だよりへの掲載，タネット放送，プレスリリース</p> <p>②竹原英語チャレンジ</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>市内小学校5年生179名，6年生182名，中学校1年生178名を対象に，竹原市で独自に作成した「聞くこと」「話すこと」についての英語能力を見取る英語検定（中学校1年生については「読むこと」を含む。）を行う。終了後，各校で結果を本人に渡す。</p> <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <p>平成30年1月15日～26日実施</p> <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <p>学校への通知及び保護者へのお知らせ</p> <p>〔H29年度事業費〕</p> <p>711千円</p>				期 間	平成29年8月8日（火）～8月9日（水）	参加者	市内小学校5年生6名，6年生8名，中学1年生7名，中学2年生5名，中学3年生4名	指導者等	ALT4名，中学校英語担当教員4名，留学生13名，引率者等6名	内 容	オールイングリッシュでの自己紹介，トレジャーハントやカレー作りなどのアクティビティーをALTや留学生を交えた異学年グループで行った。
期 間	平成29年8月8日（火）～8月9日（水）										
参加者	市内小学校5年生6名，6年生8名，中学1年生7名，中学2年生5名，中学3年生4名										
指導者等	ALT4名，中学校英語担当教員4名，留学生13名，引率者等6名										
内 容	オールイングリッシュでの自己紹介，トレジャーハントやカレー作りなどのアクティビティーをALTや留学生を交えた異学年グループで行った。										
H30年度の取組											
<p>〔事業概要〕</p> <p>○引き続き，市内児童生徒の英語によるコミュニケーション力を高め，英語に対する興味関心を高めるよう本事業を推進する。</p> <p>特に，イングリッシュキャンプについては，児童や生徒の実態に応じたアクティビティーを考え，小学生と中学生を別の内容で行ったり，参加者の体調面を配慮し，日帰りにしたりするなど柔軟な運営を検討する。</p> <p>〔H30年度事業費〕 552千円</p>											
事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了										

事業名称	産地競争力強化事業	担当	産業振興課
<p>〔目的〕 産地収益力の強化に向けた総合的推進を図る取組みを支援するとともに、雇用機会の創出を図る。</p> <p>〔事業概要〕 農林水産省の「強い農業づくり交付金」を活用し、竹原工業・流通団地への閉鎖型植物工場の設置を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施主体 株式会社野菜工房たけはら（農地所有適格法人） ○建設場所 竹原工業・流通団地（竹原市新庄町乙井谷） ○施設内容 鉄骨平屋建（2,730㎡） ○新規雇用 約36名（パート27名含む） <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付金内示・交付決定 平成29年4月：県→市 ○交付金本申請 平成29年5月：事業者→市→県 ○交付金交付決定 平成29年9月：市→事業者 <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立地協定調印式（平成29年9月4日）を開催 ○報道各社（テレビ局・新聞社）にPR <p>〔H29年度事業費〕 671,050千円</p>			
<p>H30年度取組</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定的な操業に向けて、事業者が行う雇用面などへの支援や、竹原工業・流通団地への進出企業に対する助成を行う。 			
<p>事業実施区分</p>	<p>新規 ・ 継続 ・ 終了</p>		




建設予定地（竹原工業・流通団地）



植物工場（イメージ）

事業名称	産業団地適地調査事業	担当	産業振興課
<p>〔目的〕 本市の企業誘致の方向性の検討や立地可能な適地調査を行い、今後の産業振興や経済の活性化、市内における雇用の創出につなげる。</p> <p>〔事業概要〕 竹原工業・流通団地の分譲が進み、今後、企業が進出するための用地の確保が難しくなってくることが予測されるため、本市の工場立地の現状・課題を調査し、その調査結果や企業ニーズを踏まえる中で、今後の企業誘致の方向性を検討するとともに、産業団地として可能性のある適地を調査する。</p> <p>〔実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託業者を選定・契約（平成29年5月～6月） ○実施内容（平成29年6月～平成30年1月） <ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近郊の工場立地の現状・課題を調査・整理し、企業ニーズや企業動向を踏まえた本市の企業誘致の方向性を調査・検討する。 ・調査結果を踏まえ、市内における新たな産業団地の候補地を調査し、新たな産業団地整備の可能性を検討する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="233 1200 450 1279" data-label="Text"> <p>〔H29年度事業費〕 3,024千円</p> </div> <div data-bbox="876 1008 1353 1335" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1013 1348 1230 1375" data-label="Caption"> <p>竹原工業・流通団地</p> </div> </div>			
<p>H30年度の取組</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業団地適地調査結果を踏まえ、新たな産業団地整備の必要性を含めた今後の企業誘致の戦略を検討する。 			
<p>事業実施区分</p>	<p>新規 ・ 継続 ・ 終了</p>		

事業名称	空き店舗等改修助成事業	担当	産業振興課
<p>〔目的〕</p> <p>近年、まちの顔である商店街では、経営者の高齢化に加え、大規模店との競合・集客力の低下など来店者数の減少により空き店舗が急激に増加している。このため、竹原地区や忠海地区の中心部の空洞化や衰退感を打開することを目的に、地域の消費喚起の受け皿となる店舗の創業を加速させ、まちなかのイメージアップや賑わいを創出する。</p>  <p>〔事業概要〕</p> <p>まちなかにある空き店舗を改修して創業する方を対象に、その費用の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象者：まちなかの賑わいに大きく寄与する小売業・飲食業・宿泊業・サービス業を行うとする中小企業者、商店街団体又は創業者 ○対象範囲：竹原駅前・忠海駅前・町並み保存地区に位置する空き店舗等 ○対象経費：内装工事，外装工事，給排水工事，サイン工事，電気工事及び不用物の撤去に要する費用（カーテン・照明等の備品購入，造成工事，造園工事は除く。） ○助成額：対象経費の1/2（上限額100万円） <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○募集開始：第1回（H29.7.3～H29.8.25） 第2回（H29.9.1～H29.10.13） ○応募件数：4件 ○助成件数：3件（1件助成決定後辞退） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="850 954 1214 1223" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="863 1225 1016 1254" data-label="Caption"> <p>トラットリアM</p> </div> <div data-bbox="1043 1178 1404 1447" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1123 1458 1230 1487" data-label="Caption"> <p>マヤ竹原店</p> </div> </div> <p>トラットリアM（飲食業：イタリアン） マヤ竹原店（飲食業：インド料理） 誠家（飲食業：ラーメン）</p> <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <p>広報たけはら，タネット，竹原市ホームページ，新聞紙面でPR</p> <p>〔H29年度事業費〕</p> <p>3,000千円</p>			
<p>H30年度の取組</p> <p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度と同様に、空き店舗等改修助成事業を実施する。 <p>〔H30年度事業費〕</p> <p>4,000千円</p>			
事業実施区分		新規 ・ 継続 ・ 終了	

事業名称	特産品加工・交流施設整備事業 【地方創生拠点整備交付金活用事業】	担当	産業振興課
------	-------------------------------------	----	-------

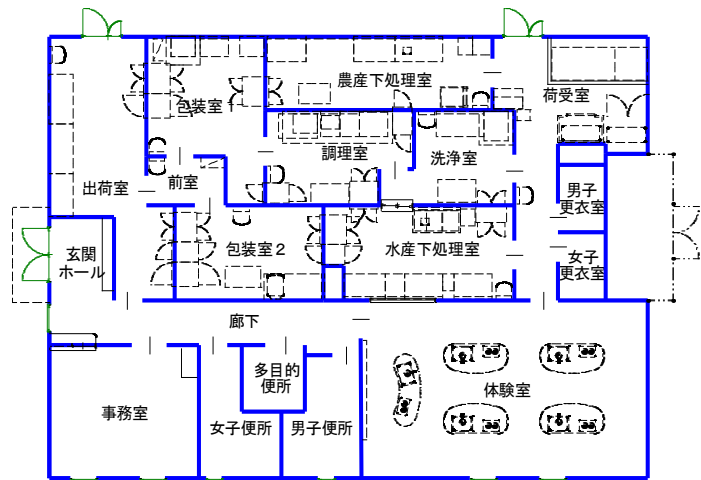
〔目的〕

本市で生産される農作物や水揚げされる水産物の生産性を高めブランド化を図り、農林水産事業者の所得向上や雇用を創出するとともに、体験交流事業を通じて「食による観光まちづくり」を進める。

〔事業概要〕

本市の農林水産物を活用した宿泊・飲食など観光産業における「食」への需要拡大を図るため、体験型交流拠点機能を備えた農林水産物加工拠点施設の整備を行う。

位 置：竹原市忠海東町五丁目
 建物の構造：鉄骨平屋建
 建物の面積：敷地面積 1701.51㎡
 延床面積 266.84㎡



計画平面図

〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕

- H29.5.～10 設計業務実施
- H29.11～ 整備工事着手
- H29.12～ 必要備品等調達開始

〔H29年度事業費〕

198,000千円



体験事業（イメージ）

H30年度の取組

〔事業概要〕

- 当該施設を活用し、本市の農林水産物の高付加価値化や一年を通して安定供給できる仕組みを構築し、生産性向上、魅力ある商品の開発、販路拡大を目指す。
- また、急増する観光客に「竹原市の生産物」を知ってもらうための新商品の発表会や試食を兼ねた料理教室等の体験事業を計画し、「食による観光まちづくり」を進める。


〔H30年度事業費〕

32,238千円

事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了
--------	---------------------

事業名称	産業団地適地調査事業【再掲】	担当	産業振興課
<p>〔目的〕</p> <p>本市の企業誘致の方向性の検討や立地可能な適地調査を行い、今後の産業振興や経済の活性化、市内における雇用の創出につなげる。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>竹原工業・流通団地の分譲が進み、今後、企業が進出するための用地の確保が難しくなっていくことが予測されるため、本市の工場立地の現状・課題を調査し、その調査結果や企業ニーズを踏まえる中で、今後の企業誘致の方向性を検討するとともに、産業団地として可能性のある適地を調査する。</p> <p>〔実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託業者を選定・契約（平成29年5月～6月） ○実施内容（平成29年6月～平成30年1月） <ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近郊の工場立地の現状・課題を調査・整理し、企業ニーズや企業動向を踏まえた本市の企業誘致の方向性を調査・検討する。 ・調査結果を踏まえ、市内における新たな産業団地の候補地を調査し、新たな産業団地整備の可能性を検討する。 <div data-bbox="858 1010 1337 1335" style="text-align: center;">  </div> <p>〔H29年度事業費〕</p> <p>3,024千円</p> <p style="text-align: center;">竹原工業・流通団地</p>			
H30年度取組			
<p>〔事業概要〕</p> <p>○産業団地適地調査結果を踏まえ、新たな産業団地整備の必要性を含めた今後の企業誘致の戦略を検討する。</p>			
事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了		

事業名称	市庁舎移転整備事業	担当	財政課
<p>〔目的〕</p> <p>市本庁舎については、建設から相当の期間が経過しており、老朽化の進行や耐震性能の不足、ユニバーサルデザインへの未対応、市民サービス窓口の分散化など多くの課題を抱えている。</p> <p>合わせて本市・広島県・竹原商工会議所がそれぞれ区分所有している「たけはら合同ビル」については、大きな割合を占める広島県所有部分が平成 21 年から未利用となっており、有効利用されていない大規模な公共建築物の存在が課題となっている。</p> <p>「たけはら合同ビル」を市庁舎として活用することで、災害発生時における対応拠点機能の確保や、市民サービス窓口の集約化といった課題解決を図り、市民の利便性を高める。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>「たけはら合同ビル」を市庁舎として活用するため、土地及び建物について売買によって取得を図る。</p> <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <p>「たけはら合同ビル」の区分所有者である広島県及び竹原商工会議所と取得について協議を進め、平成 29 年 8 月 1 日に市と商工会議所との間で、市が整備する新施設（仮称：まちおこしセンター）に商工会議所が移転することなどの基本的な方向性について合意した。</p> <p>現在、新施設の整備内容や移転に関わる具体的な条件について調整を進めており、「たけはら合同ビル」の取得時期を次年度以降に見直すこととした。</p> <p>〔H29 年度の周知（広報）状況〕</p> <p>公共施設ゾーン調査特別委員会を開催（4 回）</p> <p>〔H29 年度事業費〕</p> <p>216,630 千円</p>			
H30 年度 of 取組			
<p>〔事業概要〕</p> <p>○福祉会館に配置している機能を移転するために必要な勤労青少年ホーム 3 階の改修等を行うとともに、機能の移転後に福祉会館及び図書館を解体撤去する。また、解体撤去後に整備する新たな施設（仮称：まちおこしセンター）の設計を行う。</p> <p>〔H30 年度事業費〕</p> <p>258,661 千円</p>			
事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了		

事業名称	集約都市形成事業	担当	都市整備課
<p>〔目的〕 人口減少・高齢化が進む中においても、将来にわたり持続可能な都市とするため、コンパクトで効率的な都市構造へ再構築していくとともに、公共施設が集積する公共施設ゾーンを「まちの中心」として再生することで、魅力あるまちなかへ居住や生活サービス機能などの立地を促し、活力ある中心市街地の形成を目指します。</p> <p>〔主な事業概要〕</p> <p>●立地適正化計画の策定 本市のこれまで人口動向や経済状況、将来人口推計など分析したうえで、本市の特徴を活かした持続可能な都市構造の再構築にむけて、生活サービスなどの様々な都市機能を誘導しながら、公共交通サービスの向上を組み合わせ、「コンパクトプラスネットワークのまちづくり」の計画を策定するもの。</p> <p>●公共施設ゾーンPRE^{※1}活用調査検討（※1 PRE:公的不動産） 本格的な少子高齢化を迎え、将来の財政負担等を考慮し、公共投資をできる限り抑制しつつ、効率的に公共施設ゾーンの整備を進める必要がある。 そのため、民間の資金やノウハウをできるだけ活用し、効率的な行政サービスの提供を目指すため、公共施設の整備から維持管理までを含めて、民間活力導入の可能性を調査するもの。</p>  <p>〔実施状況（H29.4～H30.1月）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成29年5月16日 第6回 ワーキング会議:各課検討課題に対する施策の方向性 ●平成29年8月7日 第2回 検討部会:竹原市立地適正化計画骨子(案)について ●平成29年8月24日 第2回 竹原市都市再生協議会 竹原市立地適正化計画骨子(案)について ●平成29年11月13日 第7回 ワーキング会議:計画推進方策、定量的な指標について ●平成29年11月14日 第1回 都市計画審議会:【中間報告】竹原市立地適正化計画の策定について ●PRE活用調査検討:本市の市場動向の調査、市内外の企業に対するサウンディング調査^{※2}を実施中 〔※2 サウンディング調査:ヒアリングなどにより民間事業者から広く意見や提案を求め、対話を通じて市場性などを調査するもの〕 <p>〔H29年度の周知（広報）状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり意見交換会 平成29年12月10日(日)～13日(水) 4日間 竹原市民館ほか5会場 ●都市マス通信（まちづくりの情報発信紙 広報と合わせて各戸回覧） 平成29年4月 第12号「計画案の庁内検討進む」,「第1回都市再生協議会を開催」 平成29年9月 第13号「庁内議論・検討進む」,「第2回都市再生協議会を開催」 平成29年11月 第14号「都市計画審議会へ中間報告」 平成30年1月 第15号「まちづくり意見交換会を開催しました」 <p>〔H29年度事業費〕 12,729千円</p>			
<p>H30年度取組</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>○公共施設ゾーンPRE活用調査検討 市内外企業へサウンディング調査を進め、公共施設ゾーン整備に向けた事業形態の検討を行う。</p> <p>〔H30年度事業費〕 14,913千円</p>			
<p>事業実施区分</p>	<p>新規 ・ 継続 ・ 終了</p>		

事業名称	地域公共交通現状分析調査事業	担当	企画政策課																					
<p>〔目的〕</p> <p>持続可能な公共交通について検討するため、竹原市の公共交通に係る現状・利用者ニーズ等について調査を実施するとともに、竹原市の公共交通が抱える課題を把握し、課題改善の対応方針を検討する。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>移動実態や公共交通に対するニーズ等を把握するため各種調査を行う。 (路線バス・福祉バスのOD調査(乗降調査)、アンケート調査、聞き取り調査)</p> <p>〔実施状況(H29. 4~H30. 1月) 〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>時期</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OD調査(乗降調査) (路線バス・福祉バス)</td> <td>H29. 7</td> <td>路線バスは平日1日で実施 福祉バスはルート毎に1日で実施 市内のバス停での乗降者数を調査</td> </tr> <tr> <td>市民アンケート</td> <td>H29. 10</td> <td>配布：2,500世帯(2部ずつ配布) 回収：1,323件 回収率：26.46%</td> </tr> <tr> <td>高校生アンケート</td> <td>H29. 9</td> <td>回答者数 竹原高校：185件、忠海高校：140件、 市外への通学者：49件 (※市外への通学者は、市民アンケート に同封し回収できた件数)</td> </tr> <tr> <td>利用者アンケート (路線バス・福祉バス・鉄道・航路・ 広島空港行きタクシー)</td> <td>H29. 7 ~H29. 10</td> <td>回答者数 路線バス：97件、福祉バス：45件、か ぐや姫号：17件、鉄道：145件、航路： 50件、153件</td> </tr> <tr> <td>病院来院者アンケート</td> <td>H29. 10</td> <td>回答者数：129件</td> </tr> <tr> <td>観光客アンケート</td> <td>H29. 8</td> <td>回答者数：114件(うち外国人：24件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔H29年度の周知(広報)状況〕</p> <p>市民アンケートの実施記事を広報たけはら9月号に掲載</p> <p>〔H29年度事業費〕</p> <p>9,278千円</p> <p>H30年度の取組</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>○地域公共交通現状分析調査の結果を踏まえ、地域公共交通が抱える課題改善の考え方・対応方針の整理を行い、改善に向けた施策の実現性の調査等を実施する。</p> <p>〔H30年度事業費〕</p> <p>6,977千円</p>				内容	時期	概要	OD調査(乗降調査) (路線バス・福祉バス)	H29. 7	路線バスは平日1日で実施 福祉バスはルート毎に1日で実施 市内のバス停での乗降者数を調査	市民アンケート	H29. 10	配布：2,500世帯(2部ずつ配布) 回収：1,323件 回収率：26.46%	高校生アンケート	H29. 9	回答者数 竹原高校：185件、忠海高校：140件、 市外への通学者：49件 (※市外への通学者は、市民アンケート に同封し回収できた件数)	利用者アンケート (路線バス・福祉バス・鉄道・航路・ 広島空港行きタクシー)	H29. 7 ~H29. 10	回答者数 路線バス：97件、福祉バス：45件、か ぐや姫号：17件、鉄道：145件、航路： 50件、153件	病院来院者アンケート	H29. 10	回答者数：129件	観光客アンケート	H29. 8	回答者数：114件(うち外国人：24件)
内容	時期	概要																						
OD調査(乗降調査) (路線バス・福祉バス)	H29. 7	路線バスは平日1日で実施 福祉バスはルート毎に1日で実施 市内のバス停での乗降者数を調査																						
市民アンケート	H29. 10	配布：2,500世帯(2部ずつ配布) 回収：1,323件 回収率：26.46%																						
高校生アンケート	H29. 9	回答者数 竹原高校：185件、忠海高校：140件、 市外への通学者：49件 (※市外への通学者は、市民アンケート に同封し回収できた件数)																						
利用者アンケート (路線バス・福祉バス・鉄道・航路・ 広島空港行きタクシー)	H29. 7 ~H29. 10	回答者数 路線バス：97件、福祉バス：45件、か ぐや姫号：17件、鉄道：145件、航路： 50件、153件																						
病院来院者アンケート	H29. 10	回答者数：129件																						
観光客アンケート	H29. 8	回答者数：114件(うち外国人：24件)																						
事業実施区分	新規 ・ 継続 ・ 終了																							

地域公共交通現状分析調査事業（手持ち資料）

内 容	時 期	概 要
路線バス・福祉バス OD調査（乗降調査）	路線バス：H29. 7. 19 福祉バス： H29. 7. 24～H29. 7. 28 （各ルート1日）	実施日の竹原市内のバス停での乗降者 数を調査
路線バス・福祉バス利用客 アンケート	路線バス： H29. 7. 19～H29. 7. 29 福祉バス： H29. 7. 24～H29. 8. 4, H29. 9. 25～H29. 10. 1	アンケートを車内に設置し実施（OD 調査実施日は手渡しで配布）。 回答者数：（路線バス） 97 件 （福祉バス） 45 件 （かぐや姫号）17 件
鉄道利用客アンケート （聞き取り調査）	H29. 10. 20	回答者数：（竹原駅） 39 件 （大乘駅） 12 件 （安芸長浜駅）13 件 （忠海駅） 65 件 （吉名駅） 16 件
航路利用客アンケート （聞き取り調査）	H29. 8. 31	生活航路として利用している人を対象 として実施 回答者数：（竹原港）45 件 （忠海港） 5 件
広島空港行き乗合タクシー 利用客アンケート	H29. 10. 24～ H29. 11. 7	アンケートを車内に設置し実施 回答者数：153 件
市民アンケート	H29. 10. 5～ H29. 10. 16	配布：2500 世帯へ2部ずつ郵送 （市内を竹原地区・大乘地区・忠海地 区・北部地区・吉名地区の5つに分け それぞれ500世帯を抽出） 回収：（竹原地区）227 件 （大乘地区）221 件 （忠海地区）226 件 （北部地区）245 件 （吉名地区）200 件 （不明） 204 件 （計） 1,323 件 回収率：26.46%
高校生アンケート	H29. 9. 8～H29. 9. 14	回答者数：（竹原高校） 185 件 （忠海高校） 140 件 （市外への通学者）49 件 ※市外への通学者は、市民アンケート に同封し回収できた件数
来院者アンケート （聞き取り調査）	H29. 10. 20（呉共済病 院忠海分院） H29. 10. 21（安田病 院・馬場病院）	回答者数： （安田病院）48 件 （馬場病院）49 件 （呉共済病院忠海分院）32 件
観光客アンケート （聞き取り調査）	H29. 8. 31	回答者数：（町並み保存地区）18 件 （道の駅たけはら）28 件 （忠海港）40 件 （竹原港） 4 件
外国人観光客アンケート （聞き取り調査）	H29. 8. 31 H29. 10. 20（忠海駅で 追加調査）	回答者数：（町並み保存地区）3 件 （忠海港） 2 件 （忠海駅）19 件